

和歌山県議会議長 前芝雅嗣 様

請願者

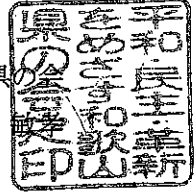
和歌山県地方労働組合評議会

議長 武内正次



平和・民主・革新の日本をめざす和歌山県

代表世話人 泉



安保条約をなくし、平和・民主主義・生活向上をめざす和歌山県民

議長 中谷



憲法九条を守るわかやま県民

代表 坂本



紹介議員

松坂 英桂  
雑賀 光夫  
奥村 規子



## 「集団的自衛権」行使を具体化する

### 「平和安全法制」に反対する請願

#### 【請願趣旨】

安倍政権は、集団的自衛権行使を認める一連の法案を、今国会を延長してまでも、強引に成立させようとしています。日本を「海外で戦争する国」にする道は、許されません。

今回提出の「平和安全法制」は、これまで禁じられていた「戦闘地域」への自衛隊派兵を認めています。また、銃弾が飛び交う「戦闘現場」になっても、活動を休止するだけで、撤退はしないと決められようとしています。自衛隊員の武器使用については、「自己防護」(正当防衛)に限られてきたものから大きく拡大し、自衛隊の任務の危険性が格段に高まり、戦死者が出ることは避けられません。

また、日本が攻撃されてもいないのに、「存立危機事態」と政府が判断すれば参戦するしくみをつくり、「重要影響事態」(＝日本の経済や社会に重要な影響を与える事態)と判断すれば、「日本周辺」に限らず世界中で米国の戦争支援ができ、そして新たに「国際平和支援法(海外派兵恒久法)」をつくり、いつでも自衛隊を派兵できるようにしています。

このような、集団的自衛権行使を具体化する「平和安全法制」は戦争立法と言っても過言ではなく、制定すべきではありません。

以上の趣旨から下記について、請願します。

#### 【請願事項】

1. 「集団的自衛権」の行使を具体化する「平和安全法制」に反対すること。

【意見書ひな形】

## 集団的自衛権の行使を具体化する法案については 廃案にすることを求める意見書

安倍政権は、集団的自衛権行使を認める一連の法案を、今国会を延長してまでも、強引に成立させようとしています。日本を「海外で戦争する国」にする道は、許されません。

今回の5月提出予定の「安全保障法制」は、これまで禁じられていた「戦闘地域」への自衛隊派兵を認めています。また、銃弾が飛び交う「戦闘現場」になっても、活動を休止するだけで、撤退はしないと決められようとしています。自衛隊員の武器使用については、「自己防護」(正当防衛)に限られてきたものから、大きく拡大。自衛隊の任務の危険性が格段に高まり、戦死者が出ることは避けられません。

また、日本が攻撃されてもいないのに、「存立危機事態」と政府が判断すれば参戦するしくみをつくり、「重要影響事態」(=日本の経済や社会に重要な影響を与える事態)と判断すれば、「日本周辺」に限らず世界中で米国の戦争支援ができ、そして新たに「国際平和支援法(海外派兵恒久法)」をつくり、いつでも自衛隊を派兵できるようにしています。

このように、集団的自衛権行使を具体する「安全保障法制」は、戦争立法と言っても過言ではありません。地方自治法99条に基づき意見書を提出します。

### 記

1. 集団的自衛権の行使を具体化する法案については廃案にすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

2015年〇月〇〇日

〇〇議会議長 〇〇 〇〇

〇〇〇

〇〇〇 様

〇〇〇